

WLB 推進を検討している皆様へ

WLB 推進前の課題、問題

取組前は、長時間労働が当たり前で、ライフに時間を充てられる社員はほとんどいませんでした。モチベーションの低下、体調不良、コミュニケーション不足と会社の雰囲気はよくありませんでした。子育て社員だけでなく、今後は介護による時間的制約を受ける社員の増加も予想される中で、社員の健康を脅かし、モチベーションの低下を招く長時間労働は、少数精鋭で効率よく成果をあげる妨げになると考えました。

WLB 推進時の困難点、克服策

ワークライフバランスの取組を推進したことにより、育児休業者、育児短時間勤務者、パートナーの転勤に伴う在宅勤務者など、働き方を変える社員が続出し、仕事の受注の仕方まで変更することになりました。その結果、一時的に売上利益は減りましたが、制約を持った社員をマネジメントする経験を積み、仕事を回せるようになったことはとても大きいと思います。今後は徐々に経営数字にいい結果が表れてくると思っています。

WLB 推進による効果

コミュニケーションを取り、プライベートをオープンにすることで、お互いの理解や助け合いという風土ができました。以前と比べ、とても明るくて楽しい会社になったと思います。堂々と「今日は〇〇があるから早く帰ります！」と言える雰囲気です。

WLB 推進を検討している皆様へメッセージ

①短期的に結果を求めず、2～3年と長い目で取り組む、②一部を対象とするのではなく全員を対象とする、③嫌々ではなく楽しい取組に工夫する。簡単ではないですが、これできれば組織がより強化され、売上利益も必ずアップすると思います。弊社の取組を是非参考にしてみてください。



※このリーフレットは東京ワークライフバランス認定企業の取組紹介のために東京都が発行したものです。

WORK LIFE BALANCE

認定部門 長時間労働削減取組部門

株式会社ウィルド



認定部門 長時間労働削減取組部門

株式会社ウィルド



代表者名
大越 賢治

創立
2006年

所在地
東京都台東区台東3-12-5 クラシックビル704号

TEL/FAX
03-6662-5627/03-6662-5628

従業員数
10名(うち正社員10名)

URL
<http://www.wyrd.co.jp>

事業内容

ITコンサルティング/ソフトウェア受託開発 /コンテンツ開発
技術者派遣・技術サポート業務/ワークライフバランスコンサルティング
地域活性化コンサルティング/内部統制コンサルティング

目的/理念

・仕事も私生活も両方充実した楽しい人生を送ろう!

情報技術が日々進歩する現代社会では、技術的なスキルだけではなく新しいアイデアや発想が常に求められます。世の中のニーズをタイムリーに把握するには、私生活において社会活動(家庭・地域活動・趣味・自己研鑽)に積極的に参加し、仕事だけでは得難い新しい経験や人脈、最先端の技術に触れることが大切です。

取組内容

・週1回 30 分間のおやつタイム

毎週火曜日 15時～15時半の30分間、オフィスにいるメンバーは全員仕事をやめ、喫茶スペースで仕事以外の話をします。そこでお互いのプライベート面を知り、その人の価値観や大切にしていることを理解し尊重することで、メンバー間の信頼関係が構築され、結果的にチームパフォーマンスがとて高まります。また、仕事から離れることで、コミュニケーションの中から新しい発想が生まれることもあります。

・自分設定ノー残業デーの実施

週の初めに自分でノー残業デーを決めます。時間的制約をあえて設けることで、仕事段取力の向上および業務生産性の向上を目指します。また、プライベートの予定を実現することで従業員満足度の向上も目指します。

・ワークライフバランスに関する情報を社内チャットワークで社員全員に配信

ワークライフバランスの浸透を図るため、自社のワークライフバランス目標に対する達成進捗を社員全員に毎週発信しています。一方通行にならないよう、社内のチャットワークを利用し双方向に発信できる「WLB 関連ちゃっと」グループを作成し、ワークライフバランス関連の情報を共有しています。

従業員の声

・自分の仕事だけでなく、皆の仕事の状況などを考えるようになり「お互い様」意識を持つようになりました。自分のライフの時間を充実させることができると、仕事に対する意欲も湧いてきます。

・社長が自ら取り組み、参加しているので、従業員は制度をとて利用しやすいです。「ワークライフバランス関連」というチャットワークで社員の意見もよく聞いてくれるので、ライフの充実とともに仕事の励みにもなります。

・おやつタイムの導入により、従業員同士のコミュニケーションが増えました。その結果、スケジュールや課題の共有がスムーズにできるようになり、生産性が向上したと思います。私用等の予定も共有しやすくなりました。

・時間と心にゆとりが生まれ仕事の内容も格段に良くなりました。特に顧客の立場に立ったアイデア勝負をする際は、キレのいいものが生まれてきます。



氏名	月	火	水	木	金	時間	備考
大越	×	×	×				2015年12月19日
高田(伸)							2015年12月19日
高田(伸)	×	×	×				2015年12月19日
潮澤	×	×	×				2015年12月19日
小柳	×	×	×				2015年12月19日
鹿倉	×	×	×				2015年12月19日
藤生	○	○					2015年12月19日
馬場	○	○					2015年12月19日

